

水稻特報

★ 適期収穫で胴割米を防ごう

本年の水稻の生育は、7月の曇天、8月の高温と天候不順であったが、出穂期は平年より2日ほど早く(昨年並み)となりました。また、今年も刈り遅れによる胴割米の発生が課題となります。今後の気象は高温傾向が予測されていますので、胴割米発生による1等比率の低下が心配されます。登熟期の判定を正確に行い、胴割米等の品質低下の発生を未然に防ぎ良質米生産につなげましょう。

1. 落水時期の目安：概ね刈取り予定の2～3週間前から落水

早期落水は充実不足(お米が太らない)や胴割れ米の発生増加につながります。刈り取り予定にあわせて落水をしましょう。

※ただし、圃場の条件(乾くのに時間がかかる等)によっては早くなる場合があります。

2. 成熟期の判断方法

①稲から見た成熟期(詳しくは裏面の「帯緑色籾歩合による収穫適期判断法」をご覧ください。)

(1) 穂の大部分の籾が黄化し、穂首に近い部分の籾に10～5%程度青みが残る頃(穂から青みが完全に抜けたら胴割米発生)

(2) 主軸の上から5番目の枝穂まで黄化した頃(穂軸の3分の2が黄化)

(3) 籾の黄化程度が90%の頃(バインダー刈りの場合)

②出穂期後の日数から見た成熟期

早生種：40～45日(あきたこまち)

中生種：45～50日(コシヒカリ、風さやか、もちひかり、モリモリモチ)

晩生種：50～55日

③登熟期積算温度から見た成熟期

中野市における登熟期積算温度(注1)は、概ね1030℃前後(コシヒカリ：南部985℃、北部1030℃、あきたこまち：950℃、風さやか概ね1,150℃)ですので、仮に9月1日以降平年並みの気温で推移したとして試算すると以下のように成熟期が予想されます。

収穫適期は、登熟期の5日前～5日後の11日間となります。(注2)

<例>コシヒカリ(南部)で8月6日出穂の場合、登熟期が9月16日で、収穫適期は9月11日～9月21日の11日間となります。

出穂期(注3)	登 熟 期			
	あきたこまち	コシヒカリ(南部)	コシヒカリ(北部)	風さやか
7月28日	9月3日			
7月31日	9月6日			
8月3日	9月10日	9月12日	9月14日	
8月6日	9月14日	9月16日	9月18日	9月24日
8月9日	9月17日	9月19日	9月22日	9月29日
8月12日		9月24日	9月26日	10月4日
8月15日		9月27日	10月1日	10月9日
8月18日		10月3日	10月6日	10月16日

(注1) 登熟期積算温度：出穂期の翌日から成熟期までの平均気温の積算値

(注2) 風さやかは登熟期の5日前で刈ると青未熟粒の混入増加が心配されます。

(注3) 出穂期：全茎数の40～50%が出穂した日

◎本年の出穂期の状況

品 種	出 穂 期	品 種	出 穂 期
コシヒカリ	南部 8月6～10日頃	あきたこまち	7月30日～8月3日頃
	北部 8月8～13日頃	風 さ や か	8月6～15日頃

※1 上記は移植栽培の出穂期です。直播栽培の場合は7日ほど遅い出穂期となっています。

※2 圃場の条件や田植日によって異なりますので、あくまでも参考として下さい。

～米を出荷される皆様へ～

1. クサネムの発生している圃場が目立ちます。クサネム混入は品質低下となり、規格外となります。

クサネム等混入がないように、必ず収穫前に抜き取りをして下さい。

※ライスセンターの調整時での除去は困難です。
1000粒中に3～4粒混入で2等、5～6粒混入で3等、7粒以上混入で等級外になります。

2. 令和2年度のライスセンター電話番号

◎ 南部ライスセンター (0269) 22-5540

◎ 北部ライスセンター (0269) 22-5005

◎「令和2年産水稻栽培日誌」及び「JA 長野県安心基準米チェックシート」の提出について

春先に配布した『令和2年産水稻栽培日誌』は、産地並びに自分の栽培した農産物の安全性を保證する大切な資料となりますので、必ず記帳いただき、提出をお願い致します。また、春先に配布した「JA 長野県安心基準米チェックシート」へも記入していただき、2枚複写のうち1枚目を栽培日誌とともに出荷時に必ず提出くださるようお願い致します。

記

1. 提出先 南部・北部各ライスセンターまたは各事業所総務経済係まで
2. 提出日 ライスセンター出荷時
3. 対象者 **米を出荷する方** (自家用のみの方は提出の必要はありません。)

※栽培日誌または、安心基準米チェックシートをもらっていない、失くしてしまったなどありましたら、事業所購買窓口または園芸課まで連絡をお願いします。

※ご不明な点などありましたら、園芸課 担当技術員までお問い合わせ下さい。(TEL 23-3933、FAX 23-2187)

◎帯緑色籾歩合による収穫適期判断法

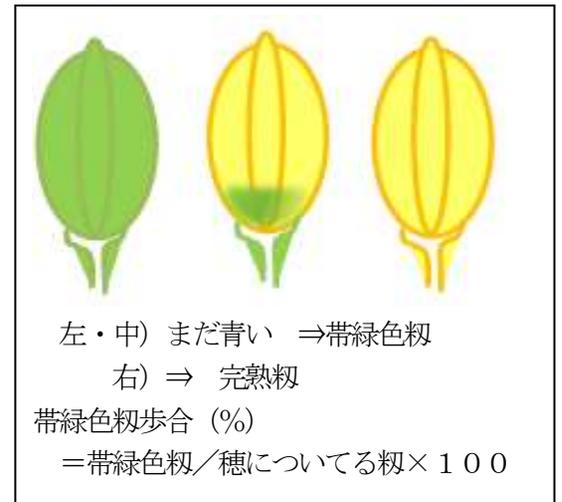
1. 調査方法

- ①平均的な生育をしている株を選び、その中で最も長い穂を2つ選んで下さい。
- ②1つの穂にある全ての籾の数を数えて下さい。(不稔籾は除く)
- ③わずかでも青味の残る籾の数を数えて下さい。(不稔籾は除く)
- ④全籾数のうち、青味の残る籾の割合(帯緑色籾歩合)を算出して下さい。

※穂全体の籾数が数えられない場合、目安として100粒と仮定して算出して下さい。

2. 判定方法

- ①帯緑色籾歩合が20% …… 成熟期の約10日前 (刈取り適期約5日前)
- ② " 10% …… 成熟期の約5日前 (刈取り適期始期)
- ③ " 5% …… 成熟期 (刈取り最適期)
- ④ " 2% …… 成熟期後5日 (刈取り適期終期)
- ⑤ " 0% …… 成熟期後5日以上 (刈り遅れ) ⇒ 胴割米発生



◎はぜ掛け乾燥を行う皆さんへ

はぜ掛け期間の目安

- 好天が続き、空気が乾燥している場合 …… 4～5日間
- 降雨が少なく、晴天が多い場合 …… 7～10日間

乾燥状態を確かめる水分測定は南部・北部各ライスセンターで出来ますので、お問い合わせ下さい。

*乾燥⇒濡れ⇒乾燥を繰り返すと、胴割米の発生増加、食味の低下などにつながりますのでご注意下さい。

*ハーベスターは使用前に必ず掃除を行って下さい。ネズミの巣となっている場合があります、糞など異物混入の恐れがあります。